

# レフェリージャーナル「総研大文化科学研究(第2号)」論文募集

Sokendai Review of Cultural and Social Studies

総合研究大学院大学文化科学研究科は、研究科内での連携強化を図り、文化科学研究(cultural and social studies)の発展に寄与するため、高い水準のレフェリージャーナルを年一回刊行しています。

## 論文募集案内

### 【ジャーナルの特色】

研究科所属の教員(専任/客員)、大学院生、研究生に論文発表の機会を提供するとともに、広く国内外から論文を募集し、文化科学全般について国際的に開かれた総合学術誌としています。

専門分野にとらわれない学際的、総合的な視野にたつ論文も歓迎しています。

論文審査は、関連分野の第一線の研究者に依頼します。さらには、国内外で活躍する第一線の研究者で組織したアドバイザーボードを設置しています。

人文社会系では国内初のe-journalですが、活字媒体でも刊行しています。

### 【募集要項】

1. 応募資格、枚(語)数、言語は問いません。
2. 論文(end note方式、欧文の場合は両端揃えなし)には、次に掲げる書類を必ず添付してください。
  - ・ 当該言語ないしは日本語のサマリー(A4 40×40字,1~2枚程度)、key word(5~10)
  - ・ 英文サマリー(A4 double space,0.5~1枚)、key word(5~10)
  - ・ 本文化科学研究科の専任教員による推薦文
3. 推薦文は、日本語または英語で、推薦する論文の「テーマ、方法、学術上の意義」について、A4(日本語の場合40×40、英語の場合double space)1枚程度とします。
4. 本研究科の教員が応募する場合、自薦文を上記3の要領で添付してください。
5. 論文の区分は、論文、研究ノート、資料紹介の三区分とします。
6. 写真・図表については、活字媒体においてカラー図版にする必要があるものを論文提出時に指摘してください。カラー図版は、論文ごとにまとめて掲載します。
7. 論文応募は、随時受付しますが、最終締切は平成17年12月20日(厳守)とします。
8. 論文提出は、推薦文執筆者の所属専攻の専攻長又は編集委員となります。
9. 刊行予定は、平成18年3月です。なお、活字媒体でも刊行する予定です。

平成17年8月1日

総合研究大学院大学文化科学研究科長 新谷 尚紀

「総研大文化科学研究」編集長(副研究科長) 早川 聞多

本件照会先 文化科学研究科対応室 岸・田中

E-mail: kikaku@soken.ac.jp